

ニ配布セリ
 ②全日本午後七時頃別添「日本紡織産業労働組合鐘紡工場分
 会」ノ名「下三」鐘紡ノ兄妹「々々及全工場」ノ運搬ヲ止メ
 〇「ト題スルニ種ノ印刷物数百枚ヲ一束トシテ外部ヨリ女
 工寄宿舎附近ニ投入セルモノアリ嚴重注意中
 右及申(通)報候也

鐘紡の全従業員諸君に告ぐ

今日午後三時五分の鐘紡工場に、全従業員諸君に對し退職恩給金三百萬圓を贈るに
 鐘紡資本王國鐘紡は、今回突然諸君全従業員に對し、四割の減給を聲明するに至つた。
 鐘紡會社は金解禁の影響、産業合理化の結果會社は非常な苦境に立ち至つたが爲め
 に家族主義の鐘紡は此の際、労働者諸君と苦しみを共にしてこれとの聲明をなしてある。
 然し家族主義温情主義の鐘紡は、何故五十圓以下の苦しい生活をなすつゝある諸君
 の賃銀を四割も減して、而も株主に對する配當には一指も染めないものであるか見れば
 明に労働者のみに其の負擔を負はせんとする暴虐なる資本家の態度ではないか鐘紡全
 國三十六工場の全従業員諸君が、一齊に此の會社の暴虐に對して奮起したりは當然で
 ある。吾々全國の労働團體も又一齊に起つて、諸君を援助し、此の鐘紡の不當な減給
 問題に對し決死的に奮闘をなさんとすつゝある。其れは何故か、若し鐘紡の減給を諸
 君が承認するならば、之を口實に他の紡績資本家は勿論、全産業の資本家が減給を斷
 行して、我々全國の労働階級の生活が着やがされることは火を見るよりも明かである
 からである。其れ故に我々は諸君と協力して此の鐘紡の減給等を粉砕せねばならぬ。

○ ○ ○ ○ ○

我等は四月九日内務省吉田社會局長官、井上大藏大臣に會見を求め、鐘紡の無暴なる
 減給問題につき嚴重なる抗議をなし、更に諸君の隅田工場に橋爪常務の代理として、
 丸山工場長と會見し、減給案を速やかに撤回せんことを要求し、更に我等は次の質問
 を試みた。

會社のかゝる無暴なる減給聲明に對し、従業員は當然團結して、自分達
 の生活を擁護するべきであると思ふが、若し今後従業員が組合を作る場合

日本紡織産業労働組合
 鐘紡工場分会
 標

鐘紡の兄妹
 〇